

マネージトレボン粉剤DL

■種類名：エトフェンプロックス・イミベンコナゾール粉剤

■有効成分：エトフェンプロックス-----0.50%
イミベンコナゾール-----0.75%

■登録番号：第21101号

■毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

■登録初年：2003.08.28

■性状：類白色粉末45μm以下、
浮遊性指数20以下

■有効年限：4年

■包装：3kg×8袋、20kg×1袋

【特長】

- 紫斑病に高い効果を示すイミベンコナゾールと、カメムシ類など幅広い殺虫スペクトラムをもつエトフェンプロックスとの混合剤で、大豆に発生する病害虫を同時に防除できる。
- 新しいタイプの大豆紫斑病防除剤イミベンコナゾールを含有し、近年増加傾向にある薬剤耐性の紫斑病菌にも高い効果を示す。
- 大豆紫斑病菌の感染鎖のうち、菌糸伸長阻止、気孔侵入阻止、胞子形成阻止効果があり、胞子飛散を抑制することにより安定した効果を発揮する(マネジ)。
- 近年発生の多いカメムシ類に高い効果を示す(トレボン)。

【適用内容】(2014年10月末日現在)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	エトフェンプロックスを含む農薬の総使用回数	イミベンコナゾールを含む農薬の総使用回数
だいず	紫斑病 カメムシ類 アブラムシ類	3～4 kg/10a	収穫30日前 まで	2回以内	散布	2回以内	2回以内
	ハスモンヨトウ	4kg/10a					

【効果・被害等の注意】

- 本剤は飛散を少なくするように製剤されており、一般の粉剤に比べ、見かけ比重がやや大きく、流動性が良いので、散布の際は散粉機の開度を一目盛程度しぼって散布すること。
- 大豆の紫斑病に対しては落花後～若莢期に散布すること。
- 蚕に対して長期間毒性があるので、近くに桑園がある場合には絶対に桑葉にかからないようにすること。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
 - ◆ ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散する恐れがある場合には使用しないこと。
 - ◆ 関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

【安全使用上の注意】

- ❖ 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- ❖ 散布の際は農薬用マスクなどを着用すること。作業後はうがいをするとともに洗眼すること。
- ❖ かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
- ❖ 魚毒性等：水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。養殖池等周辺での使用は避けること。
散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。
- ❖ 保管：直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。